

～桜の木を支えるのは・・・土台づくりを大切に～

学校長 宮路 ますみ

はるらんまん かん がつ たち あたら げんごう はっぴょう れいわ ひび
春爛漫を感じる4月1日、新しい元号が発表されました。“令和”という響きは、これまでには
なかつた あたら じだい よかん なに き あたら ねんど
なかった新しい時代を予感させる何かがあるような気がしています。新しい年度のスタートです。

はる せ や く ふたつばししょうがっこう こうちょう ふにん みやじ もう ぜんにん
この春、瀬谷区二つ橋小学校より校長として赴任いたしました宮路ますみと申します。前任の
こたけこうちょう つく あ すば おかづしょうがっこう でんとう けいしょう よ がっこう
小竹校長が創り上げたこの素晴らしい岡津小学校の伝統を継承し、より良い学校にしていき
いと かんが ぜんこうちょうどうよう ほごしゃ みなさま ちいき みなさま ちからぞえ ねが
いと 考えております。前校長同様、保護者の皆様や地域の皆様のお力添えをぜひよろしくお願
もう あ
い申し上げます。

ことし さくら かいが はや しんばい かん もど まんかい さくら なか にゅうがくしき おこな
今年、桜の開花が早くて心配していましたが、寒の戻りもあり、満開の桜の中で入学式を行
うことができました。さくら め はな うつく め
うことができました。桜を愛でるときには、つい花の美しさに目がいきがちですが、あの桜の美
しさを支えているのは、ささ い いうまでもなく みき ね わす
しさを支えているのは、言うまでもなく幹であり根であることを忘れてはなりません。

さくら き ちちゅう たいへんおお ね は あんてい え はかな はな
桜の木は、地中に大変大きな根を張ることで安定を得ているそうです。あの 儂げな花のイメ
ジからは想像もできない程、さそう ほど ふと みき ね せんざい
ジからは想像もできない程、ごつごつとして太いしっかりとした幹、そして根っこが存在します。

ね おお そだ はな さ りっぱ み むす ひと あ
「根を大きく育てれば、きれいな花が咲き、立派な実を結ぶ。」このことを人に当てはめるなら、
しょうがっこう きょういく ね そだ じき ほか ひと いっしょうい うえ
小学校における教育は、まさにこの根を育てる時期に他なりません。人が一生生きていく上で
ひつよう きそてき ちから そだ せきむ にんしき ね そだ みず ようぶん
必要な基礎的な力を育てることが責務だと認識していますが、根を育てるためには水や養分が
ひつよう やくめ は がっこう かにい ちいき おも
必要です。この役目を果たすのが、学校であり、家庭であり、地域なのだと思います。そのどれもが
か ね そだ き
欠けても、根はすくすくと育たない気がします。

こ ねづく おこな おかづしょうがっこう ほんねんど ほごしゃ みなさま ちいき
子どもたちの根作りをしっかりと行っていくために、岡津小学校は本年度も保護者の皆様、地域の
みなさま れんけい はか すこ せいちょう めざ ほんこう きょうしよくいんいちがん
皆様といっそうの連携を図り、子どもたちの健やかな成長を目指して、本校の教職員一丸とな
せいしんせいいがんば りかい きょうりよく ほど ねが
って誠心誠意頑張っています。どうぞご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

